

様式第4号(第5条関係)

令和5年4月5日

菊池市議会議長

様

議員名

木下 雄二

令和4年度 政務活動費 収支報告書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位 円)

項目	金額	備考
会議研修費		
調査研究費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	249,800	議会通信印刷代
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費		
合計	249,800	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



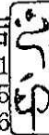
広報費 249,800 円

御見積書

木下雄二様

2023年3月17日

メニュー屋さん鹿本店
〒861-0331 山鹿市鹿本町御宇田722-1
TEL.0968-42-3075
FAX.0968-42-3076



下記の通りお見積もり申し上げます

品名	仕様	数量	金額
市議会通信	サイズ:297×628ミリ 用紙:コート90k カラー両面印刷代 ※三ッ折加工代含む	6,000枚	¥214,800-(税込)
	製作代 写真28点・加工代	一式	¥35,000-(税込)
	合計		¥249,800-(税込)

領収証

木下雄二様

様

No.

★

¥249,800-

但市議会通信印刷代として

令和5年3月24日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	10%	227,091
	%	消費税額等 22,709
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等



メニュー屋さん鹿本店

登録番号T5810399699949

〒861-0304 熊本県山鹿市鹿本町御宇田722-

TEL0968-42-3075 FAX0968-42-3076

代表 松茂文代



未来の菊池をみなさんと



木下雄二

菊池市議会報告

(令和四年度 市議会定例会)

ごあいさつ

私、木下雄二は市議会議員として26年間、現場第一主義で活動をして参りました。特に2期から一回も欠かさず一般質問をさせていただきました。市民の声を議会で発言することを公約として、今後も住民一人ひとりが「幸せ感」を持てる地域づくりを目指して参ります。ここに私が本会議で行った質問事項を要約し報告させていただき、さらに初心を忘れず努力して参ります。どうぞ、この熱意をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願い致します。



TSMC、ソニー等半導体関係企業へ未利用水活用の検討に入った竜門ダム

菊池市議会 木下雄二 一般質問集

■ 公共施設等総合管理計画の子ども議会での指摘について

木下 計画では、廃止の重味グラウンドを子ども議会で、ドクターヘリ発着所・災害時の避難所としての必要性を指摘されたが、対応は。



▲廃止の計画の重味グラウンド
(ドクターヘリ発着所・避難所)
※地域の催事、イベントの時、駐車場としても利用されている

答弁 公共施設適正管理の必要性や市がたたき台として策定した個別施設計画の概要をお伝えし、丁寧に合意形成に向けた手続きを進めたい。

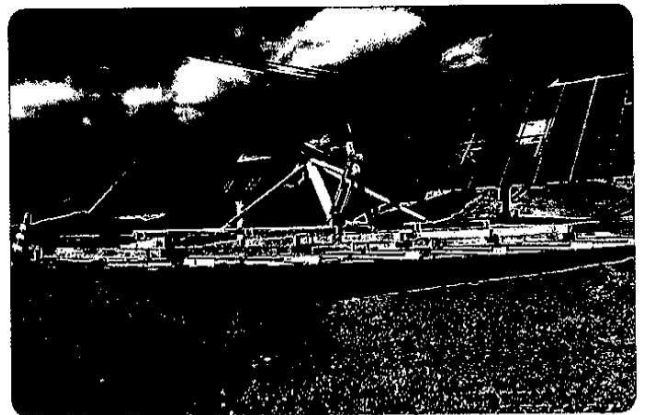


▲地域移管計画の迫間支館(避難所、投票所、集会所)
※地域移管(自治会・町内会等への譲渡、払い下げ)
※迫間支館は地域移管の場合、一世帯あたり年間約2,400円の負担となる。

■ 国道387号沿いの太陽光発電事業について

木下 国道387号沿いの追尾型太陽光発電施設は当初、市の環境基本条例があるにもかかわらず関係住民等に説明会が行われずに開発行為が進んでおりましたので、令和2年第4回定例会で迫間地区における太陽光発電施設についての陳情が採択され、これまで地元説明会が何度も開催されたが、地域住民の不安の解消に至っていない状況であります。又令和4年2月22日に豊間地区の太陽光パネルが1基倒壊し地元住民からも安心して暮らせないと声が届いている。市としても市民の命を守る観点からも原因究明も含めた業者への対応は。

答弁 6月22日に、発電事業者から市に対し、倒壊原因は不明であるとの回答があっている。



▲令和4年2月22日倒壊した(追尾型太陽光発電施設)

■ 九州産廃菊池事業所廃止後の水迫地区への対応について

木下 九州産廃菊池営業所廃止後のこれまで長い間風評被害等で苦しんでこられた水迫地区への環境整備基金の現在の状況と今後の活性化策について。

答弁 環境整備基金の残高は、約1億1,900万円である。また、水迫地区全体の総意としてご要望があれば、基金の積立状況を考慮しながら、環境整備基金条例に基づいた活用を行っていききたい。



▲営業停止の九州産廃(株)

■道路整備について

木下 ①竜門ダム下流域の西迫間寺小野線、
②千畳河原への観光ルート of 古川伊倉線、
③植木インターへの立石野間口線、
④宅地造成による交通量増の北宮1号線の道路
整備の状況は。

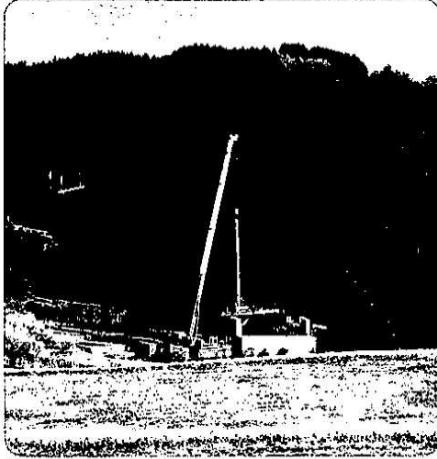
答弁 ①第1寺小野橋~市野瀬区までの改良は、

着手中の他の路線の早期完成を目指しており、
着手は難しい。

②橋りょう工事の詳細設計と改良工事を進め
ている。

③今年度分の段差解消工事は完了している。

④近隣保育園駐車場付近の狭窄区間の検討を
行いたい。



▲古川伊倉線・改修工事



▲北宮1号線(整備前)

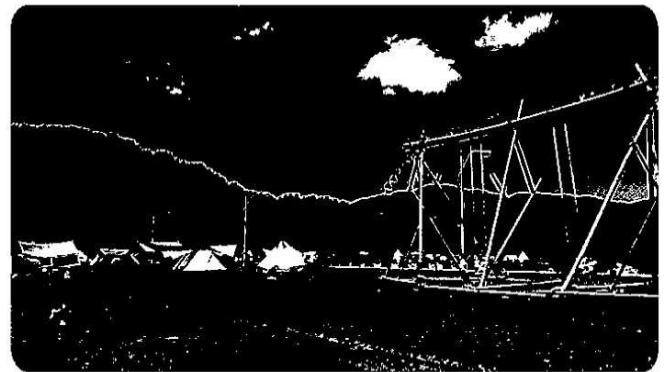


▲北宮1号線(整備後)

■ロンロン館ドラゴンキャンプ場の状況は

木下 菊池市交流促進センター ロンロン館
テナント事業者(株)モフへのドラゴンキャンプ
場オープン後の新たな観光資源としての現在の
状況は。

答弁 (株)モフがキャンプ場を運営しており、
キャンプ場の利用は年々増え、併せてロンロン
館の利用者も増えている。連休やイベント開催
日は1日あたり100組近いキャンプ利用があり、
大変盛況である。



▲竜門ダム ドラゴンキャンプ場

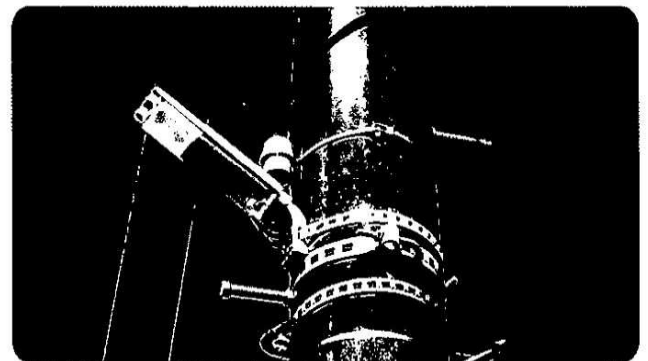
■防犯灯・街路灯のLED化の状況について

木下 過疎化・高齢化の地域の防犯灯は、LED
化による負担軽減も含め、最優先で取り組む必
要性を要望してきたが、現状と今後の計画は。

答弁 LED化率は、令和3年度末で48.3%と
なり、令和4年度末には59.2%になる見込み
である。



▲街灯



▲LED

木下 菊池市の森林環境譲与税の現状は。

答弁 4,386万円を活用し、5,235万円を基金に積み立てている。

木下 森林環境譲与税の用途は、基金としての積立より、要望が上がっている龍門地域の林道整備の必要性があるが、活用の考えは。

答弁 意向調査費用、予防伐採事業、林道維持管理費用、里山林・竹林整備事業に、約2,907万円を活用する予定である。

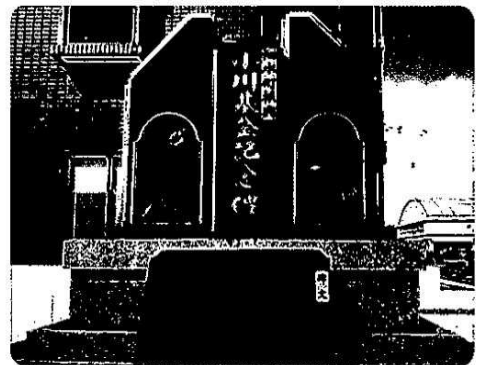


◀整備が必要な龍門地域の林道

■小川基金を活用した給付型奨学金の状況について

木下 故小川水寶氏ご遺族の小川恵美様の意思により、市の教育振興のため創設された給付型奨学金教育振興小川基金の活用状況は。

答弁 令和3年度までの4年間で、40名に、入学一時金1,205万円、奨学金約1,743万円、総額約2,948万円を給付している。



◀小川基金記念碑

■移動販売再開後の現状と今後の拡充について

木下 令和4年7月に唐突に終了した第3セクター連絡協議会運行の移動販売は、JA菊池により10月から一部運行を再開したが、今後の拡充の考えは。

答弁 今後の移動販売、およびその他の買物支援サービスの状況を精査し、市民の皆さまからの要望を踏まえ、総合的に検討していきたい。



▲JA菊池の移動販売車「きくちのまんまGO」

■菊之池小学校学童保育の新設の状況について

木下 西部市民センター敷地内の老人集会所を借用して運営されている学童保育キッズハウスぴっとは、施設も老朽化しており、子ども達も不便な思いをしている。新設を含め今後の計画は。

答弁 菊之池小学校敷地内に新設する学童保育施設の現在の進捗状況は、令和5年4月の開所に向けて、9月末までに設計を終え、建設工事を10月に着工し、年度内に完成する予定でございます。



▲老朽化した老人集会所を借用し運営している学童保育キッズハウスぴっと

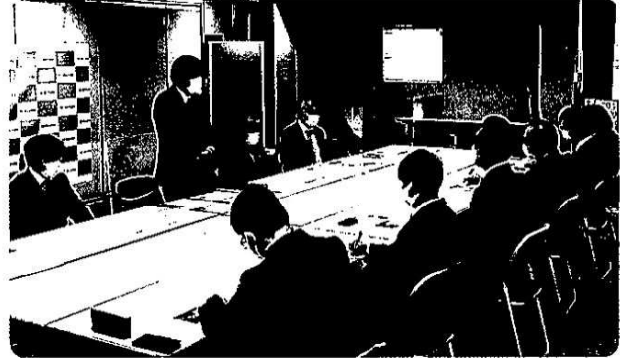
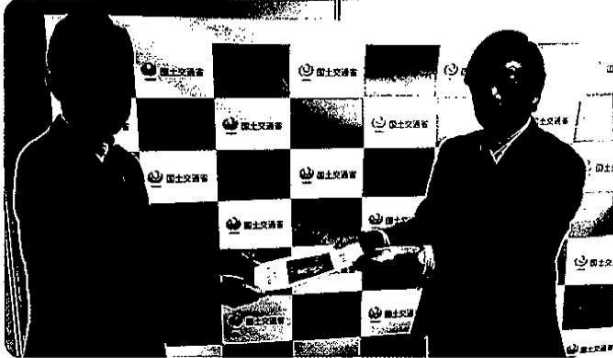


▲菊之池小学校敷地内に新設された学童保育施設(令和5年4月開所)

【竜門ダム流域対策協議会要望活動】

平成15年に協議会設立後は毎年ダム流域を代表する委員からの要望を取りまとめ国土交通省菊池川河川事務所、熊本県北広域本部に要望活動を続けてまいりました。これまで本協議会からの要望に対して積極的に取り組んで頂いておりますが、今後も継続的な推進をお願いしてまいりますので関係者の皆様のご協力をお願い致します。（有働伸也副会長（雪野区長）に同行頂き要望活動：令和5年1月17日）

▶ 国土交通省菊池川河川事務所



▶ 熊本県北広域本部



「温泉交流館（七城温泉ドーム）入場料値上げ反対討論」

令和4年12月定例会での木下雄二反対討論議事録

木下 議案第91号、菊池市リバーサイドパーク条例の一部を改正する条例の制定について、特に温泉交流館の入場料の値上げに反対の立場で討論をさせていただきます。

この七城町振興公社・温泉ドームにつきましては、七城町特産品センター・メロドームとともに、約5年間の交際費に役職員の私的飲食や、コンパニオンの代金等が含まれているとのが発覚し、市の税理士と市議の監査委員によって、523万円分が不当と結論が出ており、新聞紙上でも大きく報道されましたので、市民はもとより、県内外の方々も重々承知をされておられます。先日は不当な523万円を全額返還されないような報告がありました。当然納得ができるものではなく、市民の皆様からも、なぜ全額返せないかとの声も届いております。このように、市民に対して第三セクターについて、問題解決、説明責任も果たしていない状況の中に、今回の大幅な料金値上げなどあり得ないと私は考えます。市民の信頼関係を取り戻すことが先決であります。私も観光業に従事しておりましたので、こういうときこそ、市民、利用者の痛みではなく、改めて利用時間の見直し、フリーパス券の復活など、やるべきことはたくさんあると思います。私も温泉ドームの不祥事の前は毎日利用しておりましたが、現在は利用していません。これまでの利用者の中にも、不祥事によって利用されなくなった方もおられると思います。イメージダウンになっていることは事実であります。私は今はほかの温泉施設を利用しておりますが、その施設は令和元年10月からの消費税増税のときにも値上げをせずに頑張ったおかげで、逆にお客様は増えたとのことであります。いずれにしても、まずは市民への信頼を取り戻し、新たなスタートをすることが先決であることを申し上げ、今回の温泉交流館の入場料の値上げの反対討論とさせていただきます。

議員提出議案第91号	菊池市リバーサイドパーク条例の一部を改正する条例の制定について																	原案可決						
議案	結果	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
		表決数	賛成	反対	本藤 潔	安武 睦夫	稲継 智康	古田 浩敏	島 春代	大山 宝治	田中 教之	福島 英徳	緒方 哲郎	後藤 英夫	平 直樹	東 奈津子	水上 隆光	猿渡 美智子	荒木 崇之	工藤 圭一郎	二ノ文 伸元	泉田 栄一朗	木下 雄二	山瀬 義也
議員提出議案第91号	可決	13 対 6	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時

「身を切る改革」

令和4年6月定例会での木下雄二提案理由議事録

木下 議員提出議案第3号、菊池市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由を述べさせていただきます。

議員定数削減につきましては、これまで、20名を16名に改めるを、令和3年第2回定例会、第3回定例会で2回、令和3年第4回定例会では、譲歩して2名の削減に賛成討論を続けてまいりました。いずれも賛成4、反対15で否決となり、結果的には、合併後初の無投票となってしまいました。削減できていれば、市民の審判を受けることができたのであります。無投票では市民の代表としての資格がないと私は考えております。現在の菊池市は、中央図書館の1脚約10万円の海外製の椅子の32脚の納入問題、菊池市第三セクター七城町特産品センター(メロンドーム)及び七城町振興公社(温泉ドーム)のずさんな交際費問題等は、ようやく市の監査委員による報告があり、523万円が不当に支出されていたことが明らかになりましたが、市民に対する説明責任、疑惑の真相究明、返金要求等も何も解決できておりません。菊池市の公共施設等総合管理計画では、私の地元のドクターヘリの発着予定地に指定されている重味グラウンドの廃止、避難所にも指定されている迫間支館を地域移管とする計画を示しており、市民には痛みを与え、第三セクターでは長い間、不当な支出が続いていたのであります。また、先日の議会審議会において、唐突に現在菊池市第三セクター連絡協議会が運行している移動販売を今月末で終了するとの報告がありましたが、今後ますます増加する買物難民に対して、必要不可欠である移動販売を終了することは絶対認めることはできません。ましてや、先ほど指摘をしました第三セクターの真相究明もできていないのに、市民には痛みを与える大変な問題であります。公共施設等総合管理計画も、移動販売の件も、今後ますます厳しくなる財政状況によるものであり、議員の皆様は十分理解されていると思います。私としては、市民への痛みの前に、私たち議会が身を切る改革を行い、市民に理解を求めなければならないと考えます。無投票によって、市民の目は議会に対してより厳しくなると思われれます。定数削減をいち早く行うことによって、議会としての財政再建を市民に示す必要がありますので、改選後初めての定例会での提案となりましたが、議員各位におかれましては、速やかに本改正案に賛同を賜りますことをお願いして、提案理由といたします。

1脚約10万円の海外製の椅子



七城町特産品センター(メロンドーム)▲



七城町振興公社(温泉ドーム)▲



廃止の計画の重味グラウンド▲



地域移管計画の迫間支館▲



唐突に終了する移動販売▲

議員提出議案第3号	菊池市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について (菊池市議会議員の定数を現行の20人を16人に改めるもの)																	原案否決				
	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
議案	結果	表決数	本藤 潔	安武 睦夫	稲継 智康	古田 浩敏	島 春代	大山 宝治	田中 教之	福島 英徳	緒方 哲郎	後藤 英夫	平 直樹	東 奈津子	水上 隆光	猿渡 美智子	荒木 崇之	工藤 圭一郎	二ノ文 伸元	泉田 栄一朗	木下 雄二	山瀬 義也
議員提出議案第3号	否決	5対14	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	●	○	●	○	○	●

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時



プロフィール

昭和32年11月27日菊池市森北生まれ
 昭和54年 東京観光専門学院卒業
 (現)菊池市議会議員・7期
 (現)総務文教常任委員会委員
 (現)竜門ダム流域対策協議会会長
 (元)菊池環境保全組合議会議長
 (元)企業誘致促進特別委員会委員長
 (元)菊池養生園保健組合議会議長
 (元)菊池市立北小学校PTA会長
 青少年育成アドバイザー
 ホームヘルパー2級



木下雄二 〒861-1684 菊池市豊間1388-3 電話・FAX(0968)24-1163